

iSCAN-e 取扱説明

1. ご使用前に

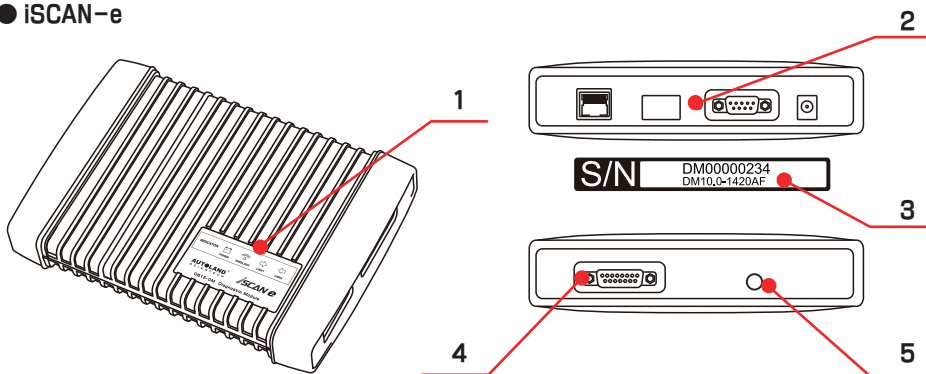
1-1 製品の構成

※リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

製品名	入数	製品名	入数	製品名	入数
iSCAN-e 本体 (I/F)	1	AC-EC5	1	OBDII-AC4-16P	1
ACアダプタ	1	アクティベーションコード	1		

1-2 各部名称

● iSCAN-e



名称	内容
1. インジケータランプ	POWER (I/F を車両に接続すると点灯) / WIRELESS (I/F を車両に接続すると点滅) / LINK1 / LINK2 ランプ (必要に応じて点灯)
2. 各ポート	RJ45 / RS-232C / DC12V ポートが装備されています。(使用しません)
3. シリアル番号	本体裏面ラベルに I/F のシリアル番号 (上段) と Bluetooth 番号 (下段) が記載されています。
4. COM1 ポート	AC-EC5 ケーブル + OBDII-AC4-161P アダプタを使用して車両に接続します。
5. リセットボタン	リセットボタンを押すことで I/F を再起動できます。

1-3 メインメニュー画面の説明

メインメニュー画面は以下のアイコンで構成されています。



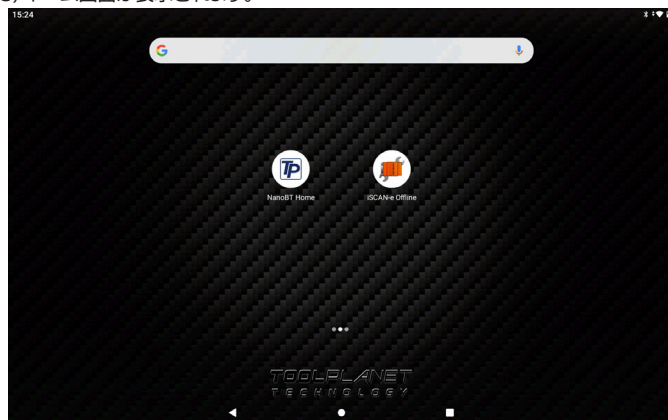
	<p>診断 各種診断を行います。</p> <p>参照: 4. 診断 (53 ページ)</p>
	<p>テクニカルホットライン (THL)</p>
	<p>アップデート ソフトウェアのアップデートを Wi-Fi を利用して行います。</p> <p>参照: 3. アップデート (52 ページ)</p>
	<p>セットアップ アクティベーションコードの入力、アップデート有効期限やバージョンなどが確認できます。</p> <p>参照: 2. セットアップ (49 ページ)</p>

TIPS ・「iSCAN-e Offline」アプリは以下のリンク先より最新版がダウンロードができます。
http://www.autolandsciencetech.com/v2015p/jp/product/product_detail-2-6

1-4 タブレットの起動と終了

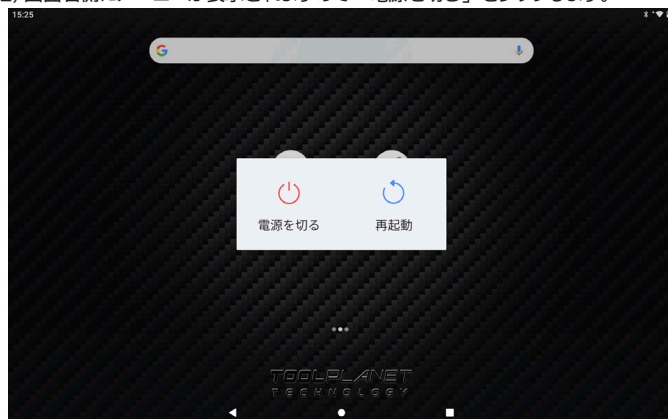
● 1-4-1 起動

- (1) ご使用前にタブレットを充電してください。
- (2) タブレット右側面の電源ボタンを NEC ロゴが表示されるまで (約 3 ~ 5 秒間) 長押しします。
- (4) しばらくするとスタート画面が表示されます。
画面を下から上方向にスワイプしてロックを解除します。
- (5) ホーム画面が表示されます。



● 1-4-2 終了

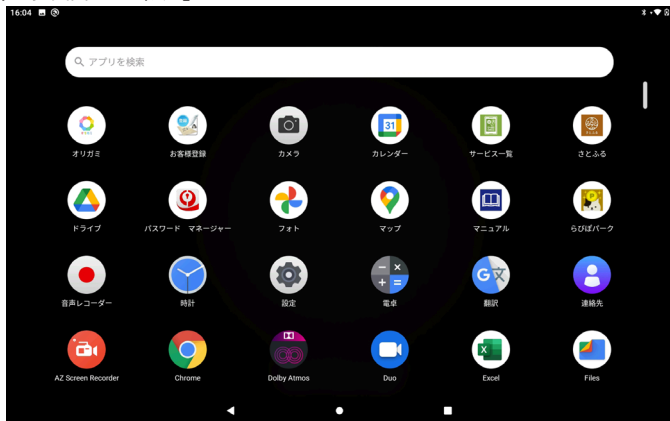
- (1) タブレット右側面の電源ボタンを 1 秒程長押しします。
- (2) 画面右側にメニューが表示されますので「電源を切る」をタップします。



1-5 Wi-Fi と Bluetooth の設定

● 1-5-1 Wi-Fi の設定

- (1) ホーム画面を下から上にスワイプします。
- (2) インストールされているアプリ一覧が表示されます。
- (3) 一覧画面から「設定」をタップします。



- (4) 設定画面から「ネットワークとインターネット」をタップします。



- (5) 「WLAN」をタップします。

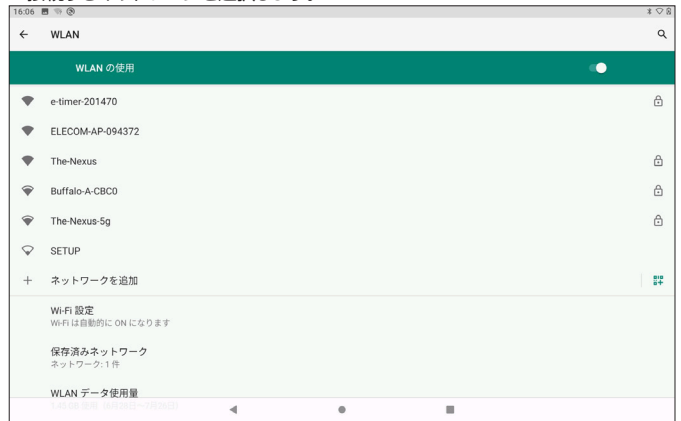


- (6) 「WLAN の使用」欄の右端にあるスイッチをタップして ON にします。



- (7) 使用可能なネットワークが検出されます。

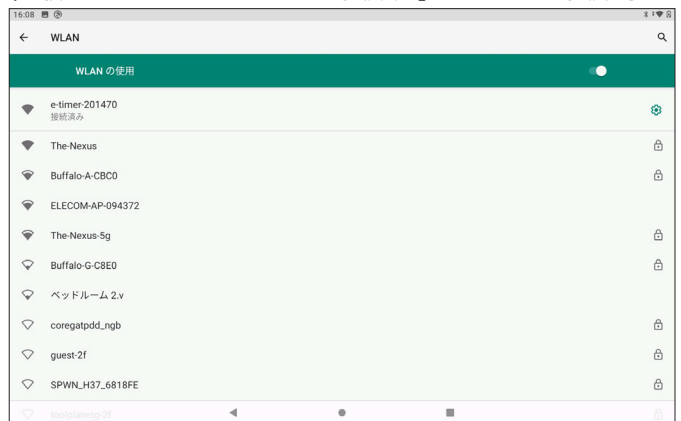
接続するネットワークを選択します。



- (8) ネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップします。



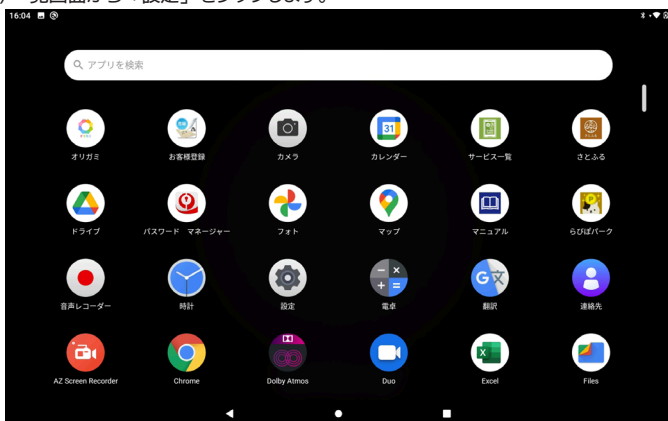
- (9) 選択したネットワークのステータスが「接続済み」になれば Wi-Fi 接続完了です。



● 1-5-2 Bluetooth の設定

設定や診断を行う際には必ず Bluetooth を ON にして実行してください。

- (1) ホーム画面を下から上にスワイプします。
- (2) インストールされているアプリ一覧が表示されます。
- (3) 一覧画面から「設定」をタップします。



- (4) 設定画面から「接続済みのデバイス」をタップします。



- (5) 「新しいデバイスとペア設定する」をタップします。

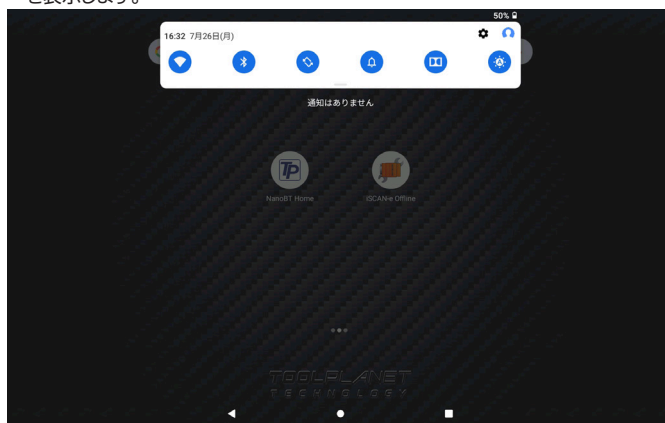


- (6) 使用可能なデバイスの検索が始まり Bluetooth が ON になります。

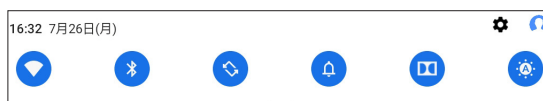


- (7) 通知画面から機能の ON/OFF が確認できます。

タブレット画面上部のステータスバー（通知バー）を下方向にスワイプし通知領域を表示します。



- (8) 通知領域左端に表示されている Wi-Fi と Bluetooth のマークが青く点灯していれば ON になっています。



TIPS ・通知画面をさらに下へスワイプするとその他の設定も確認できます。また、右下の設定ボタンから設定画面へ移動することもできます。

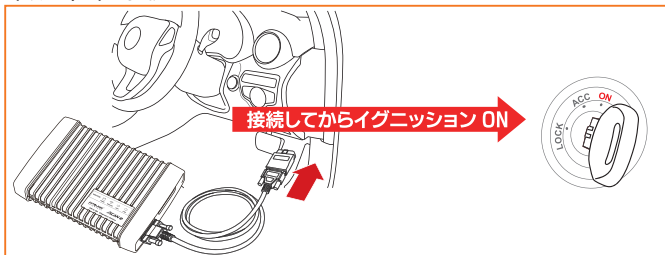


2. セットアップ

アクティベーションコードの入力、アップデート有効期限やバージョンなどの確認、ディスプレイサイズの変更などが行えます。

2-1 各種設定と確認

- (1) 車両のイグニッション SW が OFF の状態で車両診断コネクタに iSCAN-e 本体 (以下 I/F) を接続します。



- (2) iSCAN-e アプリを起動します。



- (3) メインメニュー画面から「セットアップ」を選択します。



● 2-1-1 YUP 有効期限 (アップデート期間) の確認

- (1) 「セットアップ」をタップすると設定画面が表示されます。「口座情報」をタップします。



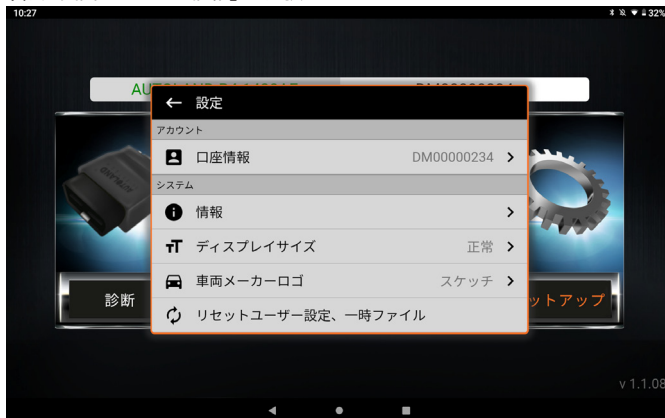
- (2) YUP 有効期限が表示されます。(例:アップデート期間は 2020 年 6 月 13 日まで)



● 2-1-2 オンラインアクティベーション / YUP リニューアル

アクティベーションコードの入力を行います。

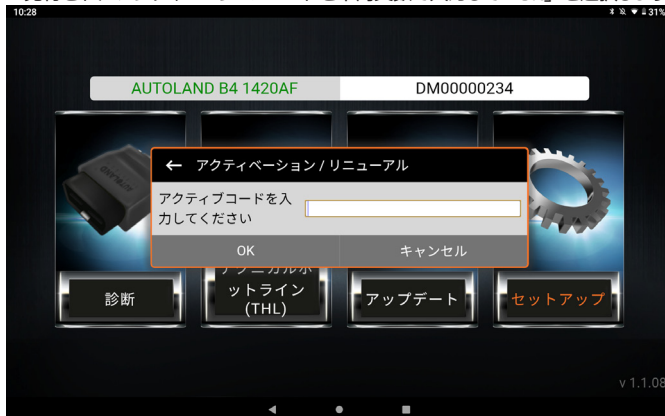
- (1) 設定画面から「口座情報」を選択します。



- (2) 「オンラインアクティベーション / YUP リニューアル」を選択します。



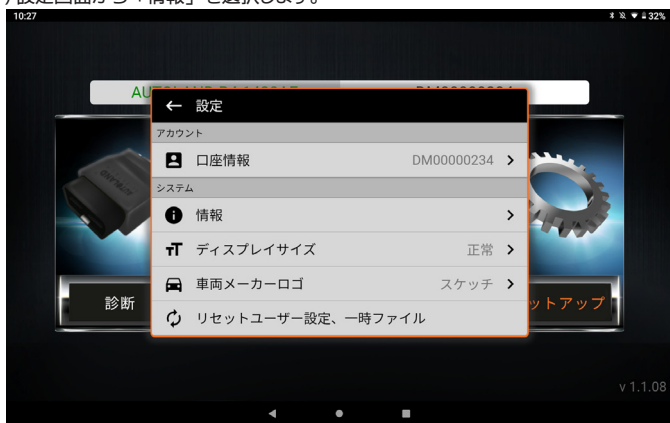
- (3) アクティベーションコードの入力画面が表示されます。
発行されたアクティベーションコードを半角英数で入力して「OK」を選択します。



● 2-1-3 アプリのバージョンの確認

インストールされているアプリのバージョンを確認できます。

(1) 設定画面から「情報」を選択します。



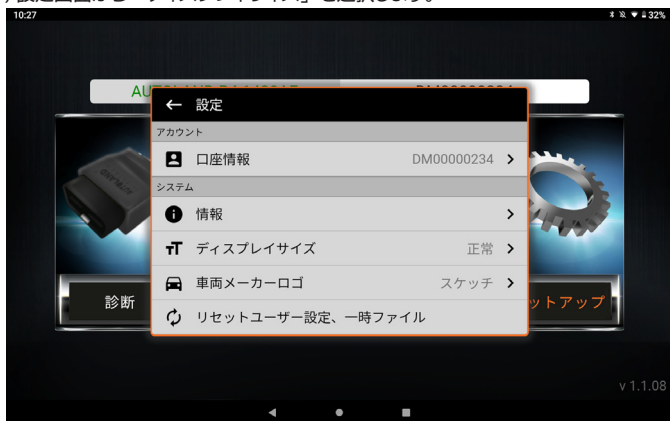
(2) アプリのバージョンが表示されます。



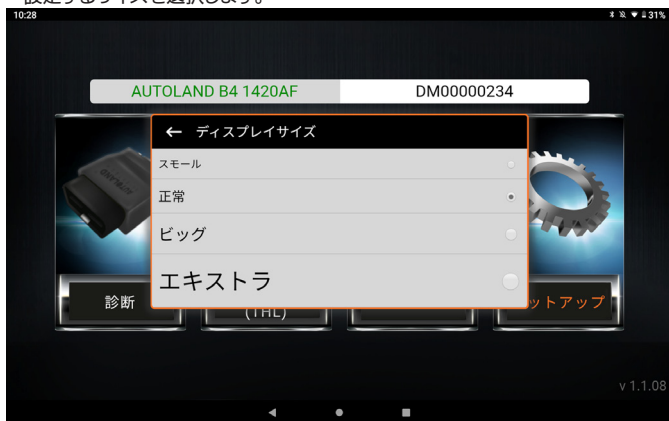
● 2-1-4 ディスプレイサイズの変更

表示されるフォントのサイズをスモール、正常(標準)、ビッグ、エクストラから選択できます。

(1) 設定画面から「ディスプレイサイズ」を選択します。



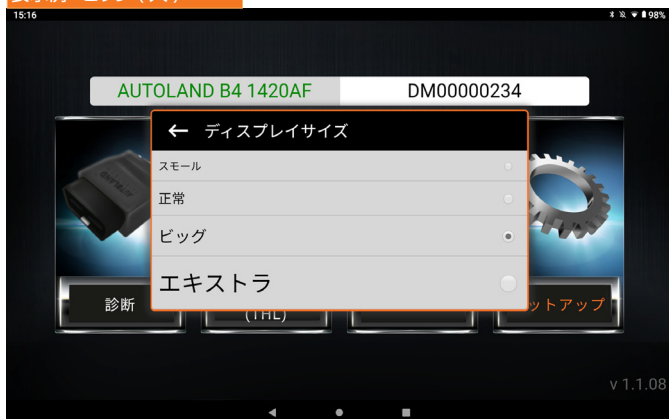
(2) 初期設定では「正常(標準)」に設定されています。
設定するサイズを選択します。



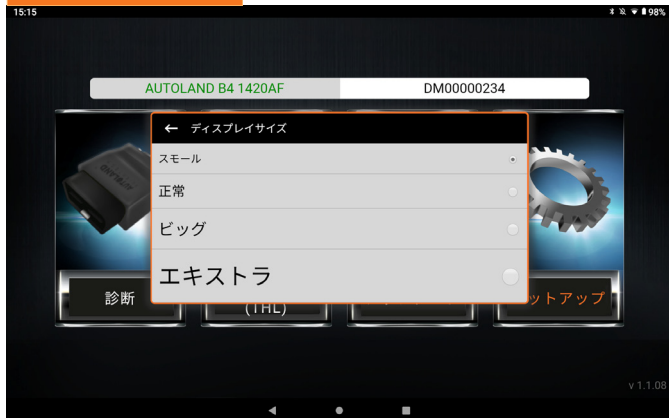
表示例: エクストラ(最大)



表示例: ビッグ(大)



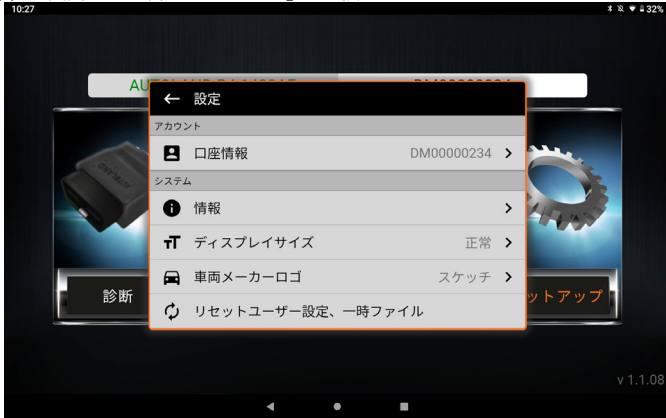
表示例: スモール(小)



● 2-1-5 車両メーカーロゴの変更

メーカー選択画面に表示される各自動車メーカーの表示を、NONE(テキストのみ)、スケッチ、カラー写真から選択できます。

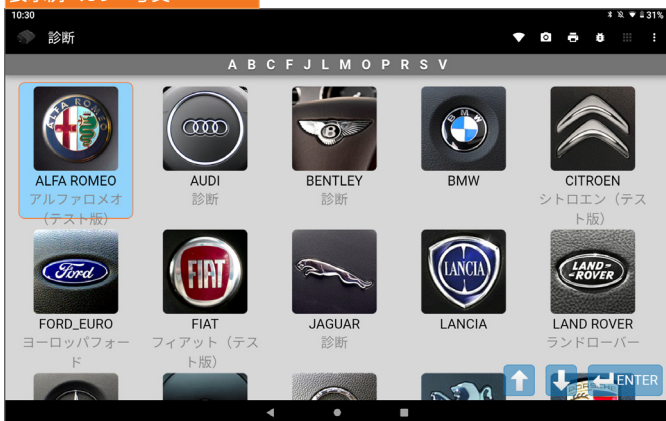
(1) 設定画面から「車両メーカーロゴ」を選択します。



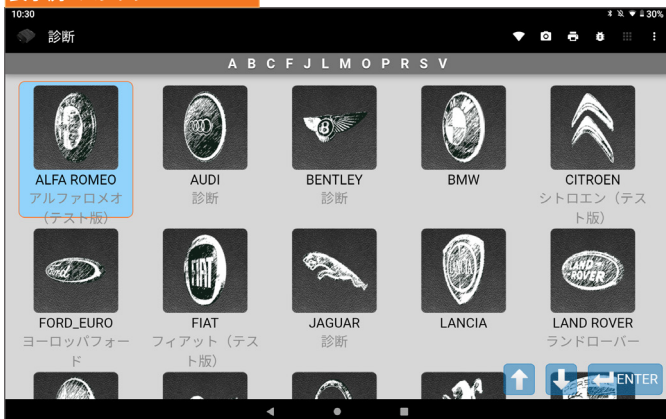
(2) 設定する車両メーカーロゴを選択します。



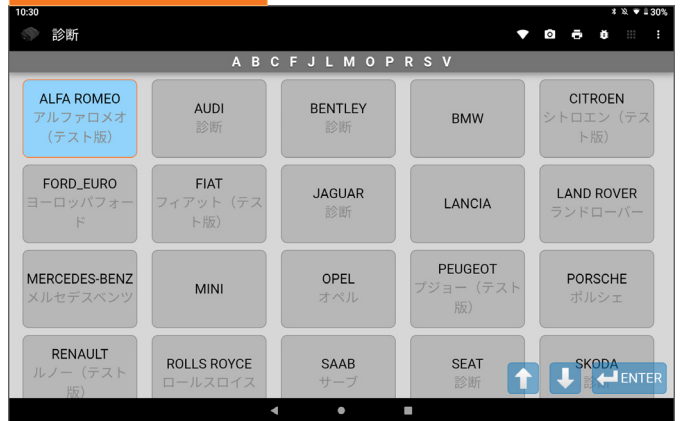
表示例：カラー写真



表示例：スケッチ



表示例：NONE(テキストのみ)



● 2-1-6 リセットユーザー設定、一時ファイル

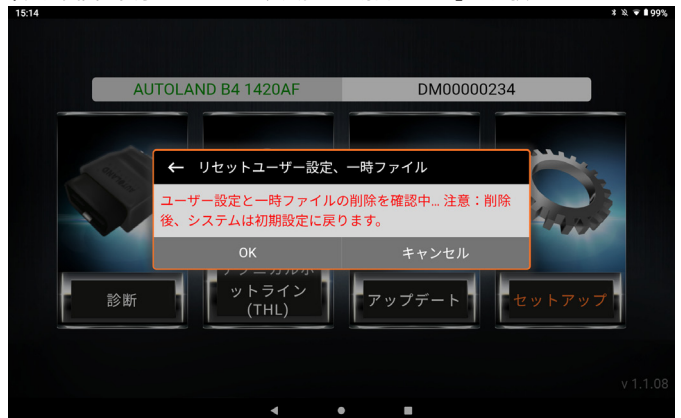
システムの初期化を行います。

I/F との同期や車両診断ソフトも削除されますので、再度設定とアップデートが必要です。

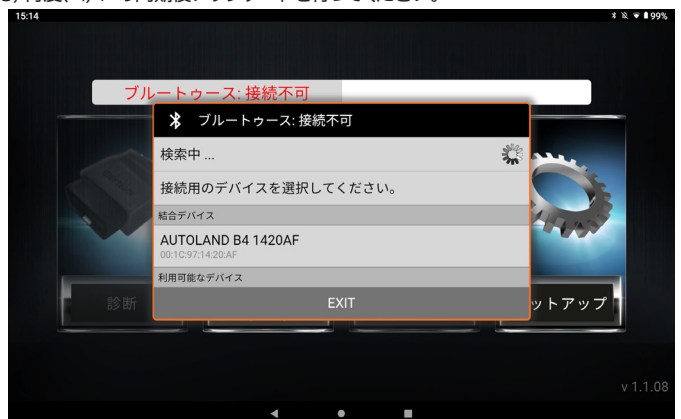
(1) 設定画面から「リセットユーザー設定、一時ファイル」を選択します。



(2) 注意画面が表示されますので、実行する場合は「OK」を選択します。



(3) 再度、I/F の同期後アップデートを行ってください。



3. アップデート

各メーカーの診断ソフトウェアをアップデートします。(事前にタブレットをインターネットに接続する必要があります。 [47 ページ参照](#))

※ソフトウェアのダウンロード速度はご利用のインターネット回線の速度によって異なります。

3-1 すべて更新

すべての診断ソフトウェアを順次自動でアップデートします。

(1) メインメニュー画面から「アップデート」を選択します。



(2) アップデートソフトウェアの確認が行われます。



(3) 画面右上の「すべて更新」を選択するとダウンロードが開始されます。

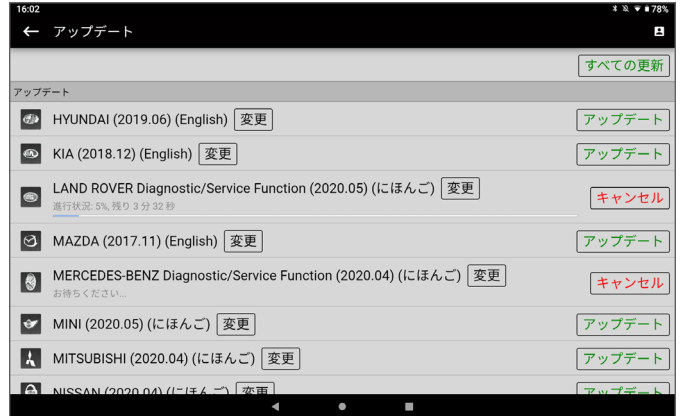


3-2 個別更新

診断ソフトウェアを個別にアップデートします。

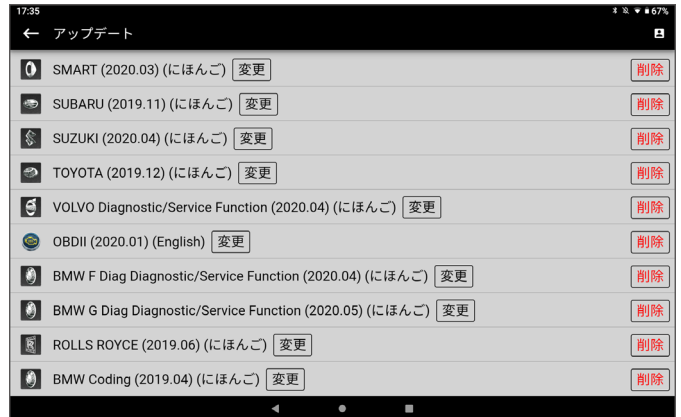
(1) 3-1 すべて更新の (1)(2) を同様に行います。

(2) アップデートする診断ソフトウェア欄にある「アップデート」を選択して、個別にアップデートを行います。

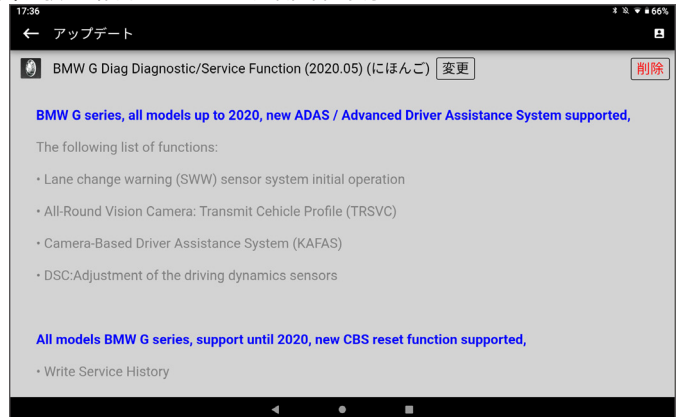


3-3 更新内容の確認

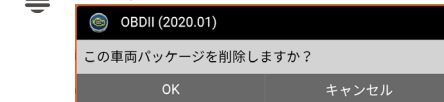
(1) 診断ソフトウェアの更新内容の確認は「変更」を選択します。



(2) 選択した診断ソフトウェアの更新内容が表示されます。



TIPS ・診断ソフトウェアを削除する場合は「削除」を選択して個別に削除できます。「削除」を選択すると確認画面が表示されますので「OK」を選択して削除を実行します。



4. 診断

車両と接続した I/F と通信することにより様々な車両診断を行うことができます。

車両診断は車両メーカーにより、サポートされた各システムのそれぞれの機能を選択することで現在の車両状態を診断することができます。

4-1 メーカー選択

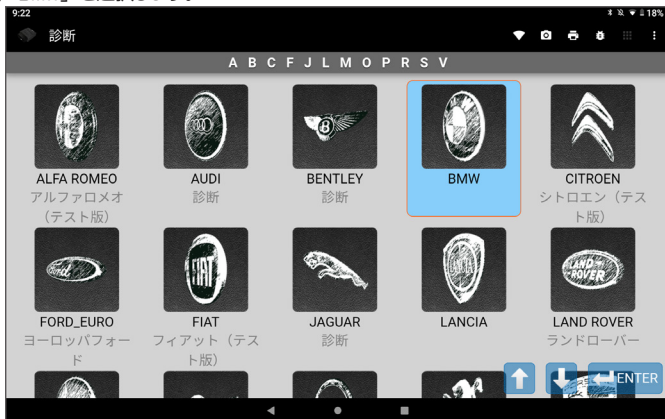
(1) メインメニュー画面から「診断」を選択します。(例: BMW G シリーズ*)



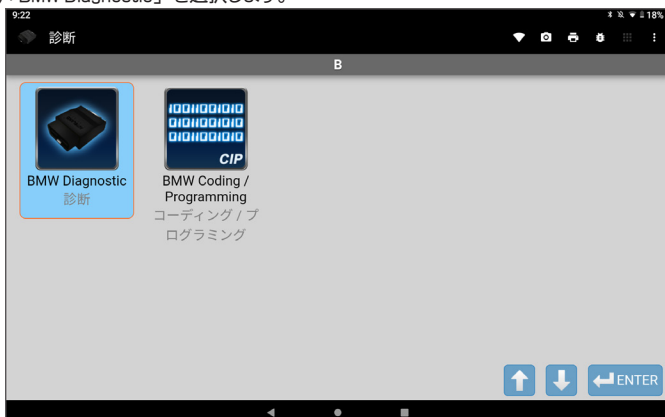
(2) 診断ホーム画面が表示されます。診断するメーカーの地域を選択します。



(3) 「BMW」を選択します。



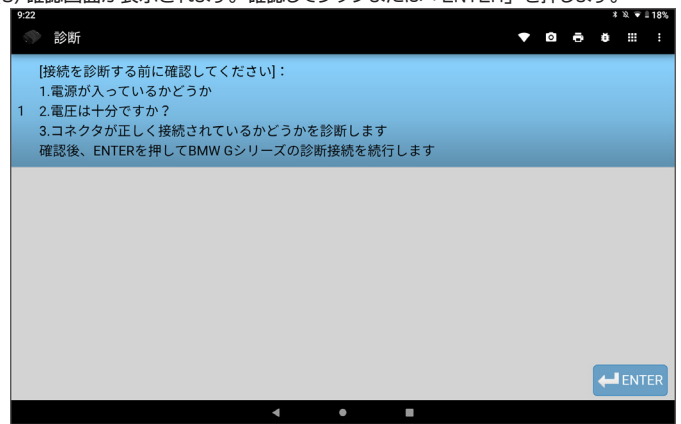
(4) 「BMW Diagnostic」を選択します。



(5) 「BMW G Series(G シリーズ)」を選択します。



(6) 確認画面が表示されます。確認してタップまたは「ENTER」を押します。



(7) 車種および機能選択画面が表示されます。



自動検出車	車種を自動で検出します。
手動によるモデルの選択	手動で車種の選択を行います。
サービス機能	学習や初期化などの機能が実行できます。
CBS リセット / オイルサービスリセット	オイル交換時期のリセットやブレーキパッド交換後のリセットなどのメンテナンスリセットが実行できます。
インテリジェント運転支援システム (ADAS)	カメラエーミングに関連する機能が実行できます。
レポート車両情報	車両データをアップロードできます。

4-2 車両選択

● 4-2-1 自動選択

- (1) 車種および機能選択画面から「自動検出車」を選択します。
(通常はこちらを選択します。)



- (2) 自動検出が開始され車両が検出されます。



● 4-2-2 手動によるモデルの選択

- (1) 車種および機能選択画面から「手動によるモデルの選択」を選択します。



- (2) シリーズやモデルを手動で選択して車両を特定します。

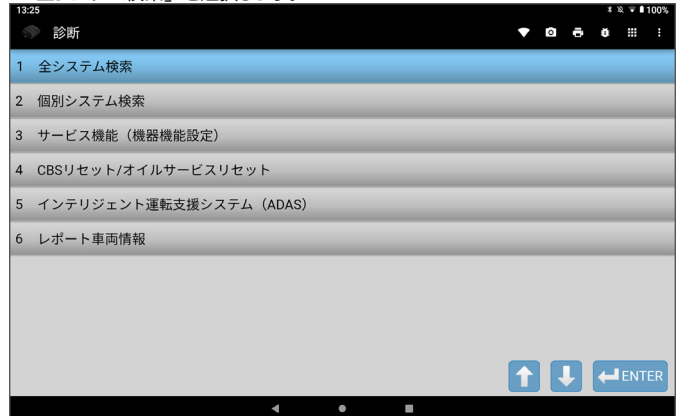


4-3 故障コード読取

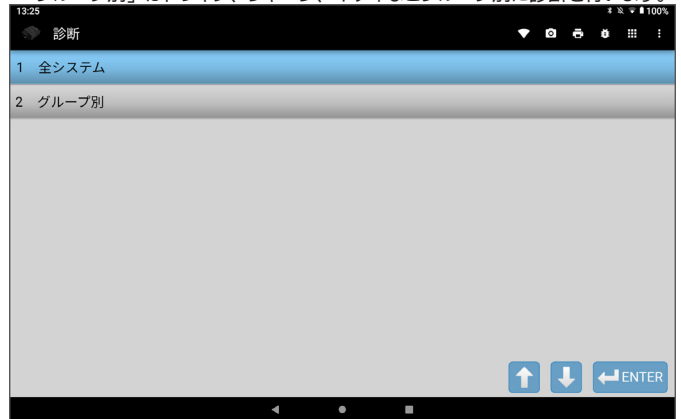
● 4-3-1 全システム検索から全診断結果を表示

車両に搭載されているシステムを自動で検出して故障コードを読取る機能です。読取後、検出された各システムへ個別にアクセスできます。

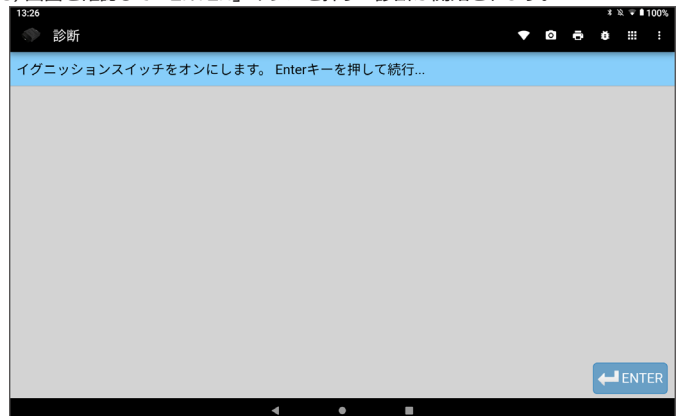
- (1) 車両検出画面から「ENTER」を押すと診断メニュー画面が表示されます。「全システム検索」を選択します。



- (2) 「全システム」または「グループ別」のいずれかを選択します。「グループ別」はドライブ、シャーシ、ボディなどグループ別に診断を行います。



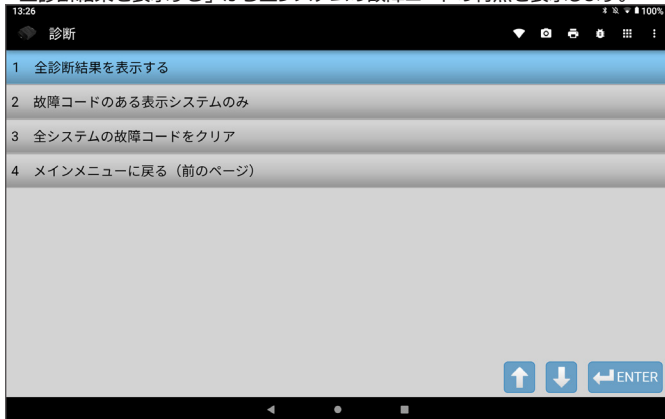
- (3) 画面を確認して「ENTER」ボタンを押すと診断が開始されます。



次のページへ続く

(4) 診断結果選択画面が表示されます。

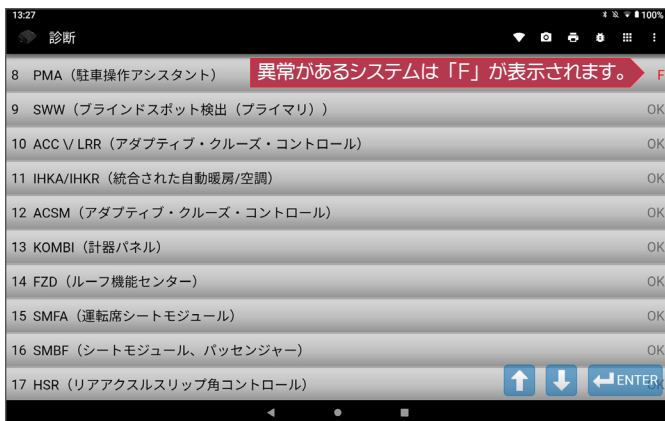
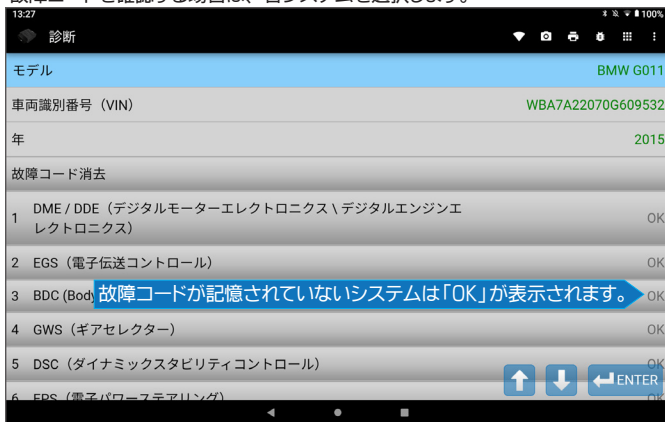
「全診断結果を表示する」から全システムの故障コードの有無を表示します。



(5) 全システムの故障コードの有無を表示する場合は「完全な車両を表示」を選択、グループ別に表示する場合は、それぞれのグループを選択します。



(6) 車両情報と読取したシステムの結果一覧が表示されます。故障コードを確認する場合は、各システムを選択します。

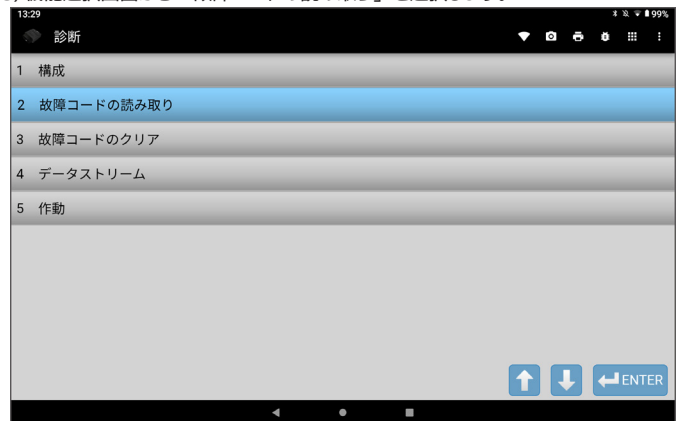


(7) システムを選択するとコントロールユニットの詳細情報が表示されます。

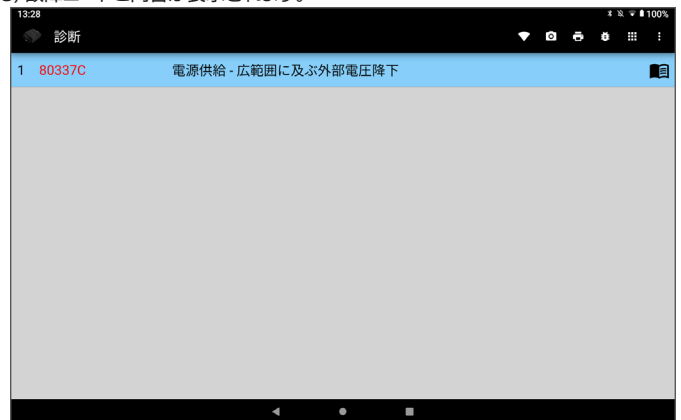
「ENTER」を押して次へ進みます。



(8) 機能選択画面から「故障コードの読み取り」を選択します。



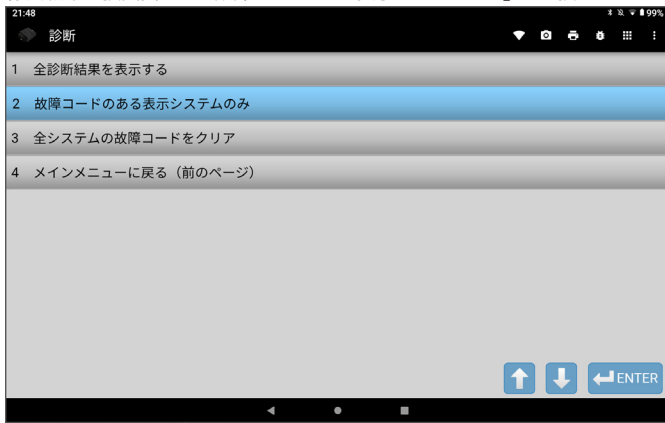
(9) 故障コードと内容が表示されます。



・故障コード表示欄の右端にある アイコンをクリックすると、オートランドのデータベース、または Google 検索へアクセスすることができます。

● 4-3-2 全システム検索から故障コードのあるシステムのみ表示

(1) 診断結果選択画面から「故障コードのある表示システムのみ」を選択します。



(2) 表示タイプの選択画面が表示されます。いずれかを選択して表示します。

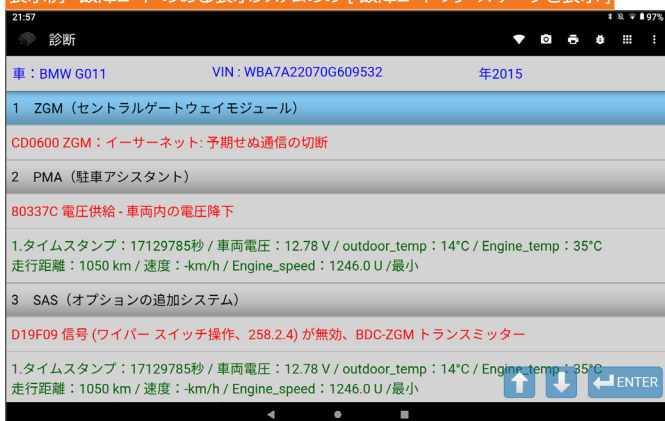
表示例：故障コードのある表示システムのみ



表示例：故障コードのある表示システムのみ [故障コードの説明を表示]



表示例：故障コードのある表示システムのみ [故障コードフリーズデータを表示]



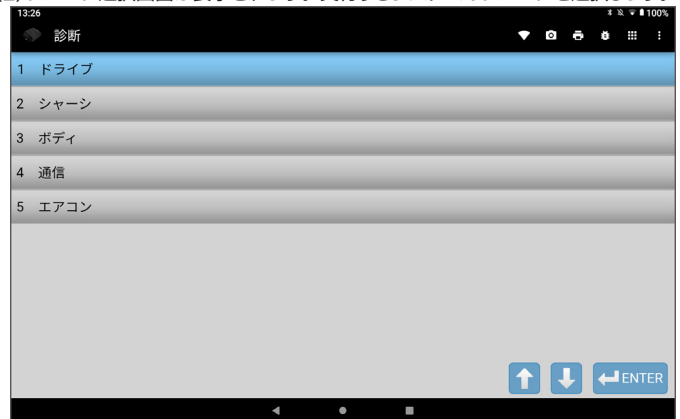
● 4-3-3 個別システム検索

車両に搭載されているシステムを個別に選択できます。

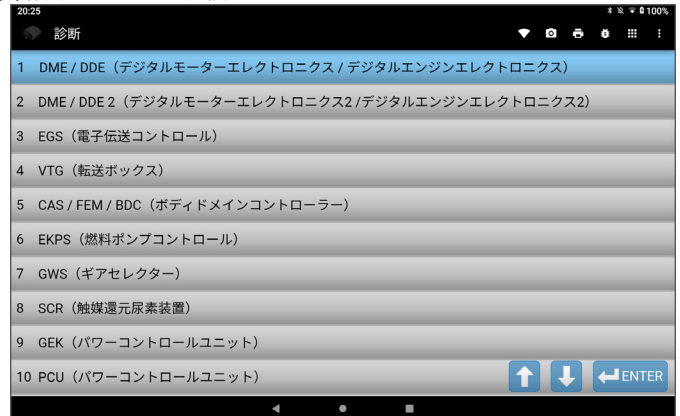
(1) 診断メニュー画面から「個別システム検索」を選択します。



(2) グループ選択画面が表示されます。実行するシステムのグループを選択します。



(3) 診断するシステムを選択します。



(4) 選択したシステムと通信が正常に行われると、コントロールユニットの詳細情報が表示されます。



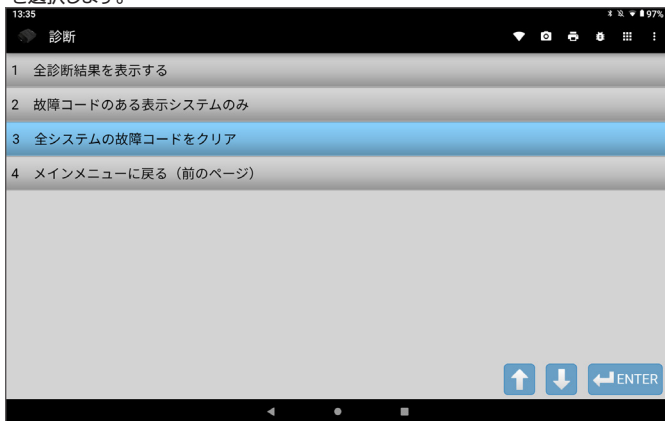
(5) 以降の手順は「4-3-1 全システム検索」の (8) からと同様です。

4-4 故障コード消去

● 4-4-1 全システムの故障コードの消去

車両に搭載されているシステムの故障コードを一括で消去します。

(1) 診断結果選択画面 (4-3-1 の (4) 参照) から「全システムの故障コードをクリア」を選択します。



(2) 故障コードの消去 (クリアフォルトコード) が開始されます。



(3) 消去が完了すると再度自動で故障コードの読取が開始され、その後診断結果選択画面が表示されます。



● 4-4-2 個別システムからの故障コードの消去

(1) システム毎の機能選択画面から「故障コードのクリア」を選択して実行します。

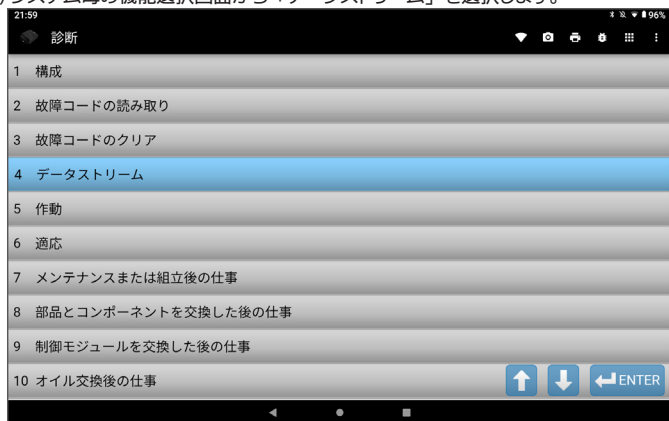


(2) 故障コードの消去が完了しました。「ENTER」を押して機能選択画面へ戻ります。



4-5 データストリーム (データ表示)

(1) システム毎の機能選択画面から「データストリーム」を選択します。



(2) データが数値で表示されます。画面右下の左右ボタンでページを送ります。

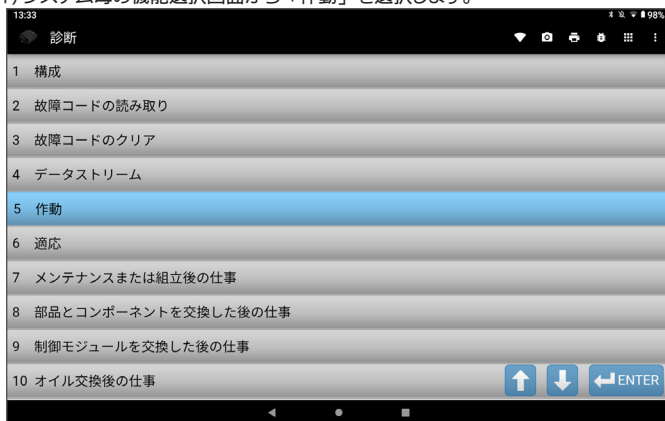


(3) データ項目の左端にある アイコンを選択すると、グラフが表示されます。



4-6 作動 (アクティブテスト)

(1) システム毎の機能選択画面から「作動」を選択します。



(2) 「概要」を選択してテスト項目一覧を表示します。*システムにより異なります。



(3) テスト項目一覧から実行する項目を選択します。



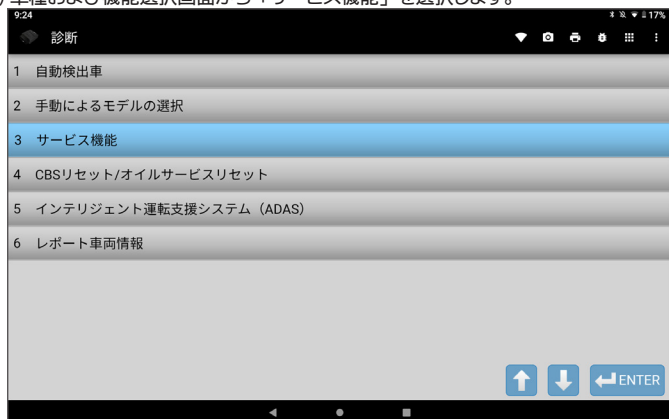
(4) オン / オフを選択して作動確認を行います。



4-7 サービス機能

学習や初期化などが行えます。

- (1) 車種および機能選択画面から「サービス機能」を選択します。



- (2) グループ一覧から実行するグループを選択します。



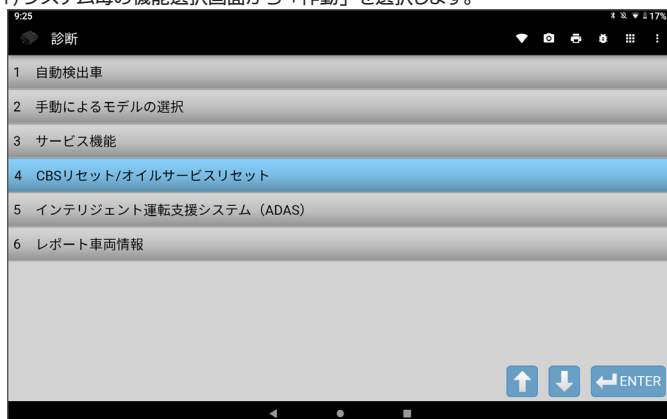
- (3) 選択したグループのサービス機能一覧が表示されます。項目を選択して実行します。



4-8 CBSリセット / オイルサービスリセット

エンジンオイル交換後のリセットやブレーキパッド交換後のリセットなどが行えます。

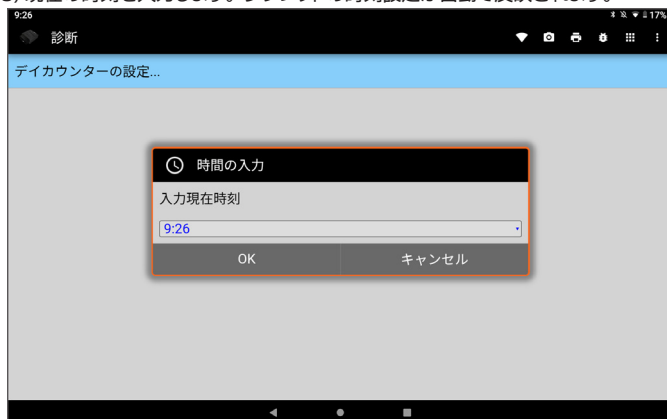
- (1) システム毎の機能選択画面から「作動」を選択します。



- (2) 「CBS (ステータスとサービスリセット)」を選択します。



- (3) 現在の時刻を入力します。タブレットの時刻設定が自動で反映されます。



- (4) 現在の日付を入力します。タブレットの日付設定が自動で反映されます。

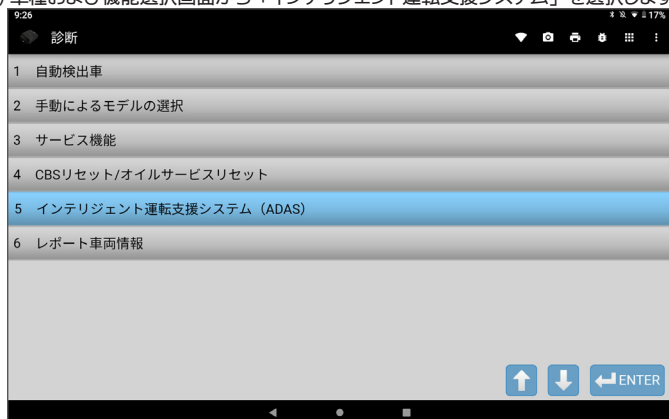


- (5) CBSリセット項目一覧が表示されますので、項目を選択して実行します。

4-9 インテリジェント運転支援システム (ADAS)

インテリジェント運転支援システム関連のサポート機能が行えます。

- (1) 車種および機能選択画面から「インテリジェント運転支援システム」を選択します。



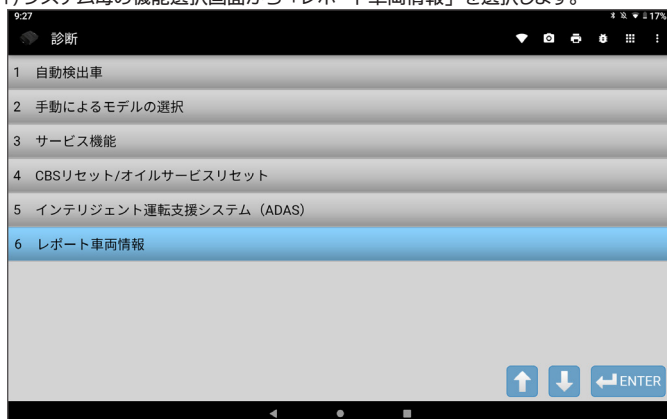
- (2) サポート項目一覧が表示されます。



4-10 レポート車両情報

車両情報をアップロードします。

- (1) システム毎の機能選択画面から「レポート車両情報」を選択します。



- (2) 画面表示を確認して「ENTER」を押します。



- (3) 車両情報のアップロードが完了しました。



5. 補助機能

5-1 サポートアイコン

画面右上に表示される各アイコンからそれぞれの機能が実行できます。

● 5-1-1 カメラアイコン

カメラアイコンを押すとスクリーンショットが保存できます。

(1) 保存したい画面でカメラアイコンを押します。



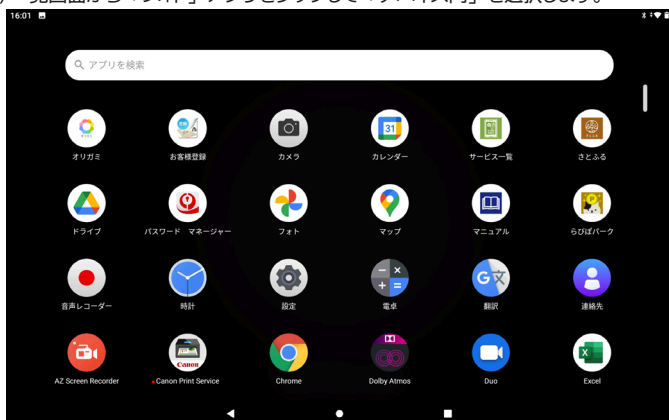
(2) 画面下に「保存しました」が表示され保存が完了しました。



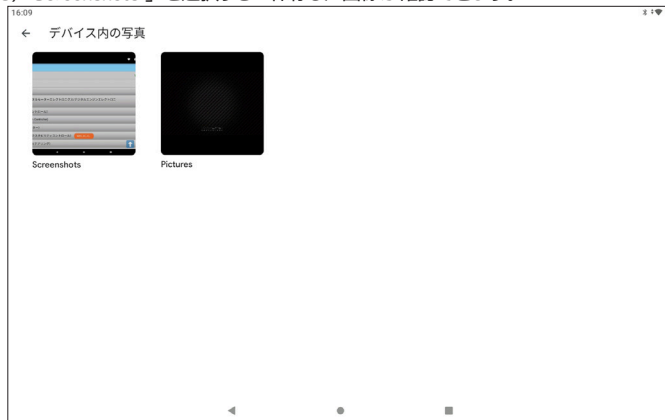
(3) 保存した画像は「ギャラリー」から確認できます。

(4) ホーム画面を下から上にスワイプしてアプリ一覧を表示します。

(5) 一覧画面から「フォト」アプリをタップして「デバイス内」を選択します。



(6) 「Screenshots」を選択すると保存した画像が確認できます。

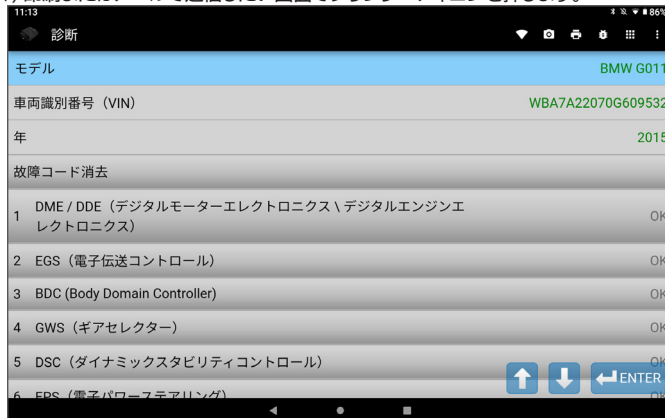


● 5-1-2 プリンターアイコン

プリンターアイコンを押すと画像を印刷またはメールで送信できます。

※事前にプリンター設定、Wi-Fi設定を行ってください。

(1) 印刷またはメールで送信したい画面でプリンターアイコンを押します。



(2) ダイアログが表示されます。実行する項目を選択します。



- (3) 車両情報入力ダイアログが表示されます。
必要な項目を入力して印刷またはメールで送信します。



● 5-1-3 バグレポートアイコン

AUTOLAND 社へ不具合レポートとしてログを送信できます。

- (1) 不具合が確認された画面でカメラアイコンを押します。
バグレポートダイアログが表示されますので、必要な項目をプルダウンから選択および入力します。最下部の空欄にはご連絡先メールアドレスを入力してください。入力情報を確認して「OK」を選択します。



● 5-1-4 診断ホーム画面アイコン

診断ホーム画面に戻ります。

● 5-1-5 メニューアイコン

格納されているメニューを展開します。

- (1) メニューアイコンを選択します。



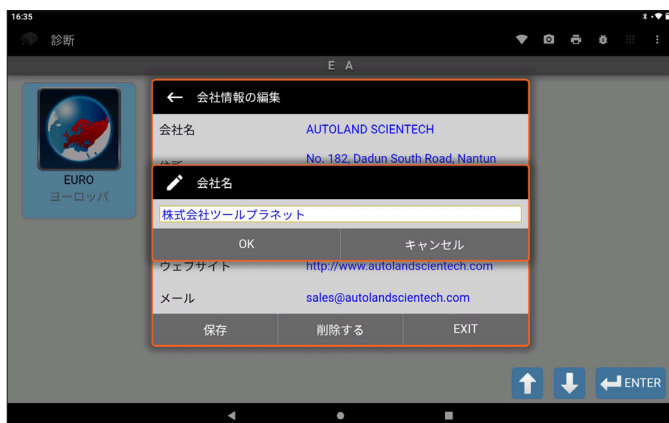
- (2) 設定アイコンから口座情報の確認やアイコン、単位などを変更できます。



(3) CRM アイコンからスクリーンショットの削除や会社情報の編集が行えます。



(4) 会社情報の編集は各項目をタップすると入力画面が表示されます。



保証

保証期間：ユーザー登録から1年間

アップデート期間終了後1ヵ月以内にアップデート期間延長申込をされ正常に処理された場合に限り、本体保証も1年間延長されます。

保証規定

本製品は、お客様がインターネットを使用してユーザー登録した日を開始日として12ヶ月間にわたり、材料と製造上の欠陥に対し保証されています。但し、保証期間はインターネットを使用して正しくユーザー登録されている場合にのみ有効です。

- ・保証対象はインターフェースのみ有効です。タブレットやケーブルなどの付属品は保証対象外となります。
- ・タブレットの保証は購入から1年間です。保証の延長はありません。
- ・保証期間内に正常な使用状態で使用にて故障した場合は、無償修理いたします。
- ・火災、天災による故障の場合は保証対象外となります。
- ・本保証は、乱用、改造、あるいは意図された用途以外の目的に使用されたり、使用方法に関する取扱説明書に一致しない方法で使用されていたり、あるいは部品に対しても適用されません。これには本製品に使われているあらゆるネジの取り外しが含まれます。(ただし、それに限定されるものではありません)
- ・原則本製品は現品修理となります。修理期間中の貸出機などのご用意はございません。
- ・お買い上げになりました本製品を修理のために送付しなければならない場合の往復運賃はお客様ご負担となります。

お問合せ先

製品の取扱いに関するご質問、アップデート期間延長やオプション商品の申し込みなどにつきましては、お買い上げの販売店までご連絡ください。なお、診断不可車両がございましたら診断ソフトを最新ソフトにアップデートいただきご確認ください。それでも診断不可な場合は、再度最新ソフトにアップデートいただくと共に、I/Fの名称(Nano-BTまたはiSCAN-e)とシリアル番号、および自動車検査証など車両の情報が分かるものをご用意の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。また、故障コードに対する修理方法などをご返答いたしかねます。車両整備書などをご覧いただくよう様、予めご了承願います。

製造元：株式会社ツールプラネット
〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2
TEL:058-246-1733 FAX:058-246-1736